



しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO. 6
(通巻75号)
平成27年(2015)
6月2日(火)

感動 心に残る『開校記念日 運動会』

校長 飯野 博史

5月30日(土)、夏の日差しの中、運動会を開催しました。受付名簿を確認したところ、保護者、地域の方、小学生など約610名の方々に参観いただきました。ありがとうございました。

今年度の運動会スローガンは「しらさぎのごとく 翔べ! 舞いあがれ! 八中魂!! ~開校記念日 全力疾走~」でした。開校記念日に行く運動会を意識して、新種目「舞い降りたしらさぎのエイサー」を企画しました。エイサーは沖縄民舞で、昨年度から保健体育の授業で取り組んできました。ぜひ、発表の機会を設けたいという思いから、男女一緒に練習を重ねてきました。男子の勇壮な太鼓、女子の華麗な踊り、息の合った掛け声、全体の動きなど見所がたくさんありました。演技の後、保護者席から大きな拍手をいただきました。来賓の方からも「素晴らしかったですね。感動しました」などたくさんのお褒めの言葉をいただきました。

また、今回の運動会は練習当初から、入場行進、ラジオ体操、入退場など細かなところにも力を入れてきました。堂々と入場行進する生徒たちの姿に、運動会にかける意気込みを感じ、胸が熱くなりました。スローガンどおり「全力」で取り組んだ、心に残る「開校記念日 運動会」となりました。

なお、エイサーの発表に使用した太鼓や鉢巻は沖縄県那覇市立石田中学校からお借りしました。これを機に交流を深めていけたらと思います。多くの方々の協力があって成功した運動会、感謝の気持ちを忘れずにこれからの学校生活に生かしていきます。



◎ 6月の主な行事予定

- | | | | |
|--------|-----------------------|--------|----------------|
| 3日(水) | 小・中連携の会(二校研修会) | 16日(火) | 中間考査・1日目 |
| 4日(木) | 進路説明会
自然宿泊体験教室保護者会 | 17日(水) | 中間考査・2日目、E組交流会 |
| 5日(金) | 教育実習終了 | 18日(木) | 専門委員会 |
| 8日(月) | 朝礼(ユニセフ・ミニ講演会) | 19日(金) | 中央委員会 |
| 9日(火) | 中間考査一週間前 | 22日(月) | 生徒会朝礼 |
| 10日(水) | 耳鼻科検診(3年) | 25日(木) | 小学生授業・部活動体験 |
| 12日(金) | 熱中症対策講座 | 26日(金) | 校外学習(2学年) |
| | | 29日(月) | 学年朝礼 |

5月30日 開校記念日
美しくも哀しい『しらさぎの伝説』



目黒区立第八中学校校歌

佐藤春夫 作詞

大中寅二 作曲

君は聞かずやむさし野の
碑ひびすま衾あたり伝えい
信義に生きし白鷺の
形見と咲ける野の花ぞ
今わが校の記章しるしなる
君は見ざるや目黒区の
竹より直く学ぶ子は
正義と真理愛しつ
命の華を生ききそい
みな勤いそしみ労に楽しむを

5月30日は開校記念日でした。本校は昭和22年に開校しましたので、今年で開校69年目を迎えます。開校記念日にちなんで、本校の校歌と校章の由来についてご紹介します。第六代大脇憲三校長先生（故人、昭和38年4月～昭和45年3月まで在職）のお話を当時のPTA広報担当の方が聞き取ったものです。

我が八中の校歌の歌詞、又校章にデザインされた「さぎ草」の由来を、皆様ご存じでしょうか。

さぎ草は高さ15～20センチメートルの多年草の湿地ランの一種で、世田谷区の花に指定されています。昔、碑衾村と言われた八中所在地あたりから、世田谷区奥沢鷺の谷にかけて、田圃のあぜ道にやさしい白い花を咲かせていたと言われております。

この小さな花には次のような悲しく、美しい話が伝えられています。

今から650年程前の室町時代のことです。世田ヶ谷城主の吉良氏が住んでいました。

この城主の奥方は、奥沢城主大平氏の娘でトキワ姫といい、戦国の世に見られた両城主との間をつなぐための政略結婚でした。しばらくは平和な生活が続きましたが、ある時、領地の境界の争いから遂に二人の城主が戦うことになりました。大平方の一隊は吉良方の世田ヶ谷城近くまで攻め込みました。トキワ姫は大変この戦いに心を痛め、講和か救援を頼むほかはないと思われ、以前より可愛がっていた一羽の白鷺を使いとして、脚に手紙を結びつけて放ちました。白鷺は城の上空を二、三回飛び回ると、古巣である奥沢城に向かって飛び去りました。

ちょうど今の八中あたりまで来た時、敵兵に見つけられ、弓で射ち落とされてしまいました。羽を打ち抜かれた白鷺は、白い体を真っ赤な血で染めながらもバタバタと懸命に飛び上がろうともがきましたが、力尽きて息絶えました。

世田ヶ谷城はトキワ姫と白鷺の努力もむなしく敵の手に落ち、トキワ姫も自害しました。

しかし、その後白鷺の死んだ田圃のあたりから一本の草が生え、白い花をつけました。よく見ると白鷺が足に短冊をつけて飛んでいるようです。

これを知った人々は、白鷺の魂が花になって生まれ変わり、自分の主人のために信義に生きようとした姿だと白鷺の死を悼み、さぎ草を形見として大切に育て、またこの話を永く伝えました。

今は九品仏のさぎ園など限られた場所でしか見られなくなったさぎ草ですが、八中が創立された折、校章にデザインされ、また校歌の作詞を依頼された佐藤春夫先生もこの伝説に感銘を受けられ、「信義に生きし、白鷺の形見と咲ける野の花ぞ…」と歌い込まれたそうです。